

フィルターお手入れのしかた

糸くずフィルター

→ P.58



お手入れは
お洗濯ごとに

1 糸くずフィルターを取り出す



糸くずフィルター

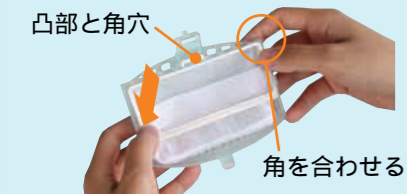
2 カバーからネットを外し ネットを裏返しにする



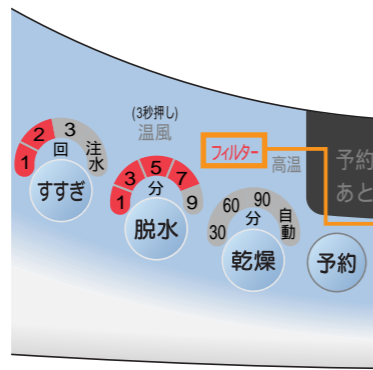
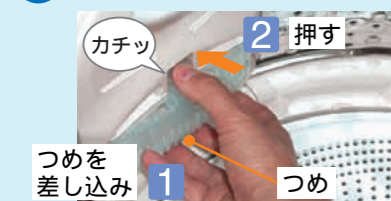
3 糸くずを取り除き、 目詰まりを洗い落とす 目詰まりがひどい場合は、 歯ブラシなどで掃除します。



4 ネットを元に戻す 凸部と角穴を合わせて、 左右のつめにはめる。



5 元どおり取り付ける



フィルターは消耗品です。
破損したときは販売店
でお買い求めください。

→ P.75

乾燥フィルター

→ P.62



お手入れは乾燥のたびに

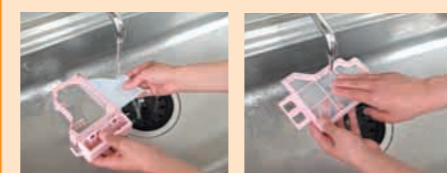
1 乾燥フィルターA,B を取り出す



2 ネットを裏返しにして 掃除機で糸くずなどを 吸い取る



汚れがひどい場合は洗い流す



3 乾燥フィルターAの ネットを元に戻す



4 乾燥フィルターA・Bを 元どおり取り付ける



フィルターは消耗品です。
破損したときは販売店
でお買い求めください。

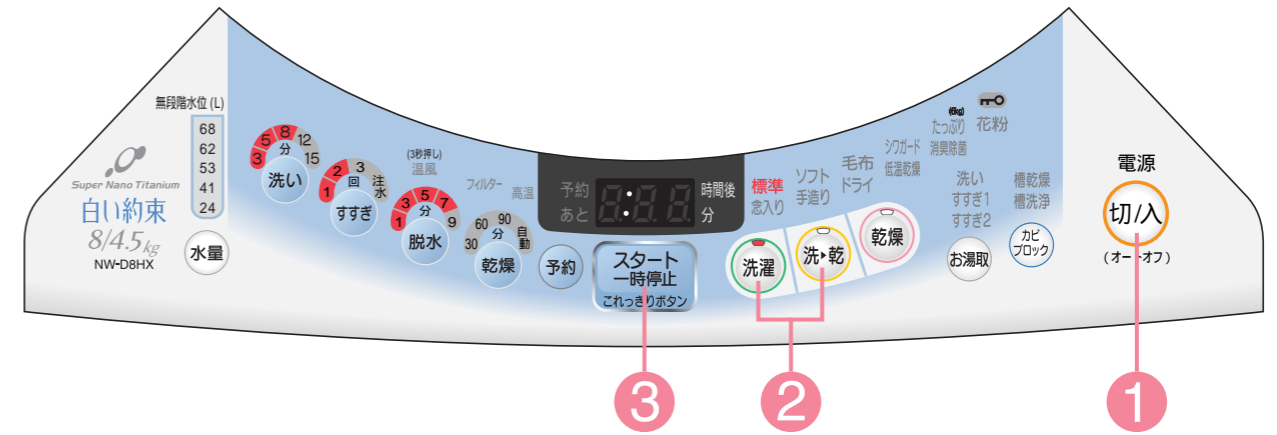
→ P.75

日立電気洗濯乾燥機 白い約束 NW-D8HX、D7HX

カンタンご使用ガイド

詳しくは「取扱説明書」をご覧ください。
→ P. このマークは「取扱説明書」の記載
ページです。

「洗濯」「洗・乾」運転を例に操作方法をカンタンにご紹介します。



準備 水栓を開け、洗濯物を入れる

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 洗濯 洗・乾 を押し、 運転したいいずれかのボタンを押し、 希望のコースのランプを点灯させる

3 スタート 一時停止 を押す

メロディが鳴って洗濯物の量を測定し、約30秒後に
水量を表示します。

4 水量表示に従って、 洗剤、漂白剤を入れて内ふたを閉め、 ソフト仕上剤を入れてふたを閉める

→ P.22 ~ 25

メロディが鳴ったら終了です。

お湯取設定したいときは
お湯取 を押し、運転した
い行程のランプを
点灯させる

→ P.28

「洗い」「すすぎ」「脱水」
「乾燥」の設定を変えた
いときは → P.46、50 ~ 53

運転中にふたを開けたいとき

洗濯運転時

スタート
一時停止 を押す → ふたロックが
解除されます。

乾燥運転時

スタート
一時停止 を押す → 1 ~ 15分の冷却運転後にふたロックが
解除されます。乾燥運転を開始してから
8 ~ 20分の間(コースや洗濯物の量
によって異なる)は、一時停止しても
再スタートすることができます。
それ以降は冷却運転後オートオフします。

乾燥後の仕上がりを良くするポイント

洗濯、乾燥の前に衣類の絵表示を確認してください。



衣類の種類によって、乾燥運転のコースを使い分けましょう。

<p>シワになりにくい普段の衣類 トレーナー タオル類 トレーニングウェア ブリーフなど</p>	▶	標準コース
<p>シワになりやすい衣類 綿シャツなどの長い形状の衣類 (特に薄手の綿シャツ) シーツ類などの大物 パジャマ、ハンカチ、Tシャツ ジーンズなどの硬く厚い衣類 綿パンなど ブラウスなど</p>	▶	シワガードコース
<p>熱に弱い衣類 キャミソール、水着 化繊100%のブラウス、下着など</p>	▶	標準コース「30分」
<p>乾きにくい厚手の衣類 厚手のトレーナー バスタオルなど</p>	▶	低温乾燥コース
<p>乾きにくい厚手の衣類 厚手のトレーナー バスタオルなど</p>	▶	念入りコース

シワを少なくするには

衣類には、乾燥でシワがつきやすいものがあります。これは、どのような乾燥機でも同じで、ある程度のシワは避けられませんが、本機の場合、従来の乾燥機に比べると衣類の種類や形状によっては、シワになりやすいものがあります。綿のワイシャツなど長い形状の衣類は、洗▶乾の「標準」コースで乾燥した場合、シワが多くなります。

洗▶乾の「標準」コースの仕上がり具合

脱水運転後、いったん洗濯物を取り出して、脱水ジワをのばしてから乾燥すると、シワを少なくすることができます。

シワガードコース
 少し湿り気を残して乾燥を終了します。終了後はすぐに吊り干ししてください。

標準コース「30分」
 洗濯後、約30分乾燥するので、そでなどの脱水ジワを抑えられます。終了後は、すぐに吊り干ししてください。

標準コース(2.0kg)
 衣類の量を減らすとシワを少なくすることができます。

ちょっとアドバイス

まとめて洗濯～乾燥をするときは、洗▶乾の「標準」コースで「30分」を選んで運転終了後、シワになりやすい衣類を取り出し、すぐに吊り干し乾燥してください。残った衣類は、乾燥の「標準」コースで運転してください。

乾きムラを少なくするには

厚手の衣類は乾きムラが発生することがあります。乾燥の「標準」コースでもう一度乾燥してください。衣類の量を少なめにしてください。厚手の衣類と、薄手の衣類は分けて乾燥してください。乾き具合を「強め」に設定する。 → P.56

乾燥の「標準」コースでもう一度

衣類の量を少なめに

分けて乾燥

衣類の毛玉や静電気を少なくするには

毛玉の気になる衣類は、裏返しにしてください。市販の静電気防止剤をご使用ください。「洗▶乾」運転のときは、ソフト仕上げ剤をご使用ください。「乾燥」運転のときは、静電気防止用シートをご使用ください。

「洗▶乾」運転はソフト仕上げ剤で

「乾燥」運転は静電気防止用シートで

衣類の縮みが気になるとき

サマーセーターや厚手のくつ下など、特に縮みやすい衣類は、次のことをお試しください。天日乾燥を併用してください。(天日乾燥をした後仕上げ乾燥を行う)乾燥の「ドライ」コースを使いましょう。

天日乾燥の併用がおすすめ

乾燥の「ドライ」コースで